



演奏する関谷囃子のメンバー(上)と花屋台(下)



遅沢ばやしの山車

私のまちの  
**近い**  
世界遺産

Topic

誰かの願いがかなうとき  
～絵馬奉納

祈願をする時、または願いがかなった時に奉納する絵馬。市の文化財には、「生駒神社の絵馬」「九尾の狐大絵馬」「鶏鳥神社の絵馬」の3点が指定されています。中でも生駒神社の絵馬は最も古い大絵馬で、奉納年月は文化8年(1811)8月、絵馬の左下寄りに願主として上井口村の農民と思われる7人の氏名が記されており、当時を知る貴重な資料となっています。



生駒神社の絵馬

おはやし  
**御囃子と絵馬**  
～豊かな暮らしを願って～

年末年始に向けて、せわしくなる時期ですね。新しく迎える年が豊かであるようにという願いは、今も昔も変わらずにあるようです。

「遅沢ばやし」は、江戸時代末期には既に存在していたと言われ、五穀豊穰を祈る村祭りの演出のため、地元の東遅沢・関根在住の愛好者が遅沢囃子組を結成して演奏されてきました。明治15年(1882)ごろ、現在の御囃子の基礎ができましたが、明治35年(1902)ごろ一時中断。大正5年(1916)に地元有志の尽力で復活し、現在に至ります。現在は、後継者育成を兼ねて地元小学校での練習会を行いながら、市主催のまつりや公民館まつり、小学校運動会などの各種イベントに参加し、披露されています。

一方、「関谷囃子」は、江戸末期に日光東照宮の修復に来ていた宮大工から伝承されたと伝えられ、神田囃子を起源としています。関谷囃子はかつて木彫りの屋台を繰り出し、地区の夏祭りである八坂神社例大祭で行われていたが、関谷地区の大火で屋台・太鼓が焼失したため、御囃子も途絶えてしまいました。その後、昭和25年(1950)に花屋台が作り直され、同時に御囃子も復活。現在は八坂神社例大祭のほか、さまざまなイベントに参加し、披露されています。